

# とみや議会だより

第21号



新議長・新副議長選任 .....P 2  
令和2年度 決算審査 .....P 4  
一般質問 .....P13  
委員会活動 .....P20

▲色づく桜並木 富谷市役所

2021年(令和3年) 11月1日発行

発行責任者/富谷市議会議長  
編 集/議会広報調査特別委員会

〒981-3392  
宮城県富谷市富谷坂松田30番地  
Tel.022-358-0622



～誰もが見やすく読みやすい市議会だよりを目指して～

**UD FONT**  
by MORISAWA

ユニバーサルデザインフォント  
を使用しています。



# 新議長に青柳信義氏 新副議長に浅野直子氏

議員18人全員による、正副議長選挙が行われ、投票の結果、議長に青柳信義氏、副議長に浅野直子氏を選任しました。その後、各委員会の委員を選任・選出しました。

この度、第3回定例会におきまして、議員各位のご推挙により、富谷市議会第四代議長に就任いたしました。身に余る光栄ではありますが、果たすべき責任の重さを痛感しております。

現在、新型コロナウイルス感染症が、全国的に蔓延する中、本市におきましても、市民の皆様のご日常生活や地域経済に甚大な影響が生じております。

本市議会といたしましては、コロナ禍の中、市民の思いを市政に反映していくという地方議会の原点を踏まえ、二元代表制の一翼を担う議会として取り組むことが肝要であるものと考えております。

議会制民主主義の本旨にのっとり、議長として全力を傾け、公正かつ円滑な議会運営に取り組んでまいります。

市民皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

富谷市議会 議長 青柳信義

## 任期満了により

### 委員会等の構成が 変わりました

◎委員長 ○副委員長

仙台市・富谷市  
広域行政協議議会

浅野直子  
佐藤浩  
村上山原  
藤原俊  
畑川博  
渡辺一

産業建設  
常任委員会

菅原福穂  
池田美穂  
浅野智  
若生俊一  
渡辺英一

総務  
常任委員会

金子清透  
村上俊  
渡辺和  
畑山正  
高橋稔  
安住幸

富谷市都市計画  
審議会委員

村上清美  
渡辺美  
長谷川

議会広報調査  
特別委員会

安住幸  
住智明  
藤田智  
池田崇  
村上福治  
菅原治

教育民生  
常任委員会

塩川智美  
長谷川崇  
佐藤浩  
藤原直  
出野一

議会運営  
委員会

安住和幸  
畑山稔  
藤原明  
金子透  
塩田治



# 新たな学びの場

## 不登校特例校 富谷中学校 西成田教室 令和4年4月開設へ

取り巻く環境、要因によって、登校できなくなった生徒の新たな学び場として開設します。



西成田コミュニティセンター(旧西成田小学校)

### 教室名

富谷市立富谷中学校 西成田教室

### 設置場所

西成田コミュニティセンター内(富谷市西成田)

※西成田コミュニティセンター内の子育て支援センターは、富谷中央公民館に移設。

### 富谷市の不登校の現状

小学校・中学校ともに、ここ数年、不登校の出現率が高止まりしています。県平均を上回る学校も多くなってきています。別室登校や教育支援センターに通所して学習している児童生徒もいますが、さまざまな理由により欠席が続く児童生徒が多くみられます。

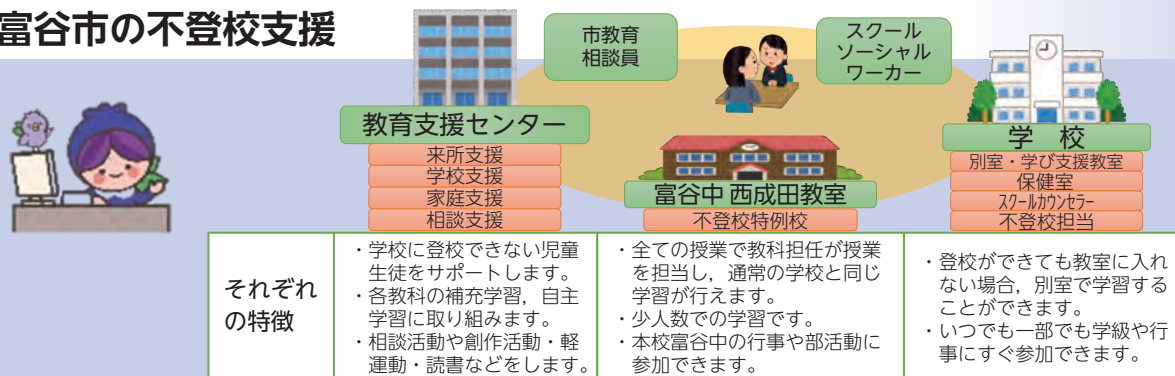
### 不登校特例校とは

不登校児童生徒に対しその実態に配慮して特別に編成された教育課程に基づく教育を行う学校です。設置にあたっては、文部科学大臣の指定が必要で、現在、全国で17校が指定され、東北では初めての開設です。

### 不登校特例校のねらい

専任の教員がより意図的・計画的な教科指導を少人数や個別の形態で実施することにより、学ぶ楽しさと成長する喜びを感じながら、一人ひとりの社会的自立に結び付けていくものです。

### 富谷市の不登校支援



# 特集 令和2年度 決算 暮らしと教育が自慢できるまち



## 小中学校コンピュータ教育事業

..... 3億7,514万円

GIGAスクール構想の加速等により児童生徒用4,681台、教員用141台のタブレット等を導入し、ICT教育の環境整備を行いました。

令和3年度第3回定例会は、9月1日から17日までの17日間の会期で開かれました。  
令和2年度一般会計決算、各種特別会計決算および事業会計の認定、令和3年度各種会計補正予算、条例の改正、人事案件など、全ての議案を原案通り可決しました。  
一般質問は、11人の議員から市政を問う21件の質問がなされ、活発な議論が繰り広げられました。



## デマンド型交通事業

.....672万円

市内の東部と北部区域沿線の地域を対象に、デマンド型（予約乗合い）交通を導入し、実証運行を開始しました。



## 認可保育所運営事業

..... 9億3,446万円

多様化する保育ニーズに対応するため、延長保育や一時預かり保育に対し補助を行い、円滑な運営に努めました。



**防災啓発事業**  
..... 3,548万円

正しい防災知識の普及と意識の高揚を図るため、新たにハザードマップを作成しました。



**市道穀田三ノ関線道路改良事業**  
..... 1億1,413万円

富谷小中学校周辺の朝夕に発生する慢性的な渋滞を解消するため、整備を進めています。

**●●● 新型コロナウイルス感染症の主な独自支援策 ●●●**

- 割増し商品券事業 1億3,828万円
- 上下水道基本使用料免除補助金 8,569万円
- 事業継続支援事業 7,540万円
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金 5,070万円
- 感染症予防事業 2,894万円
- 新生児特別定額給付金給付事業(3弾・4弾) 2,763万円
- 店舗等賃料補助事業(2弾・3弾) 1,729万円
- 敬老祝い商品券事業 1,522万円
- ひとり親家庭等緊急支援事業(2弾・3弾) 1,471万円
- テイクアウト利用促進事業 1,369万円
- 売り上げ減少事業者支援事業 1,320万円
- 町内会館感染症予防対策事業 875万円
- 融資保証料補給事業 321万円
- 出張販売促進事業 100万円
- 市民活動応接セット配布事業 79万円
- とみや牛タンカレーふるさと便事業 49万円

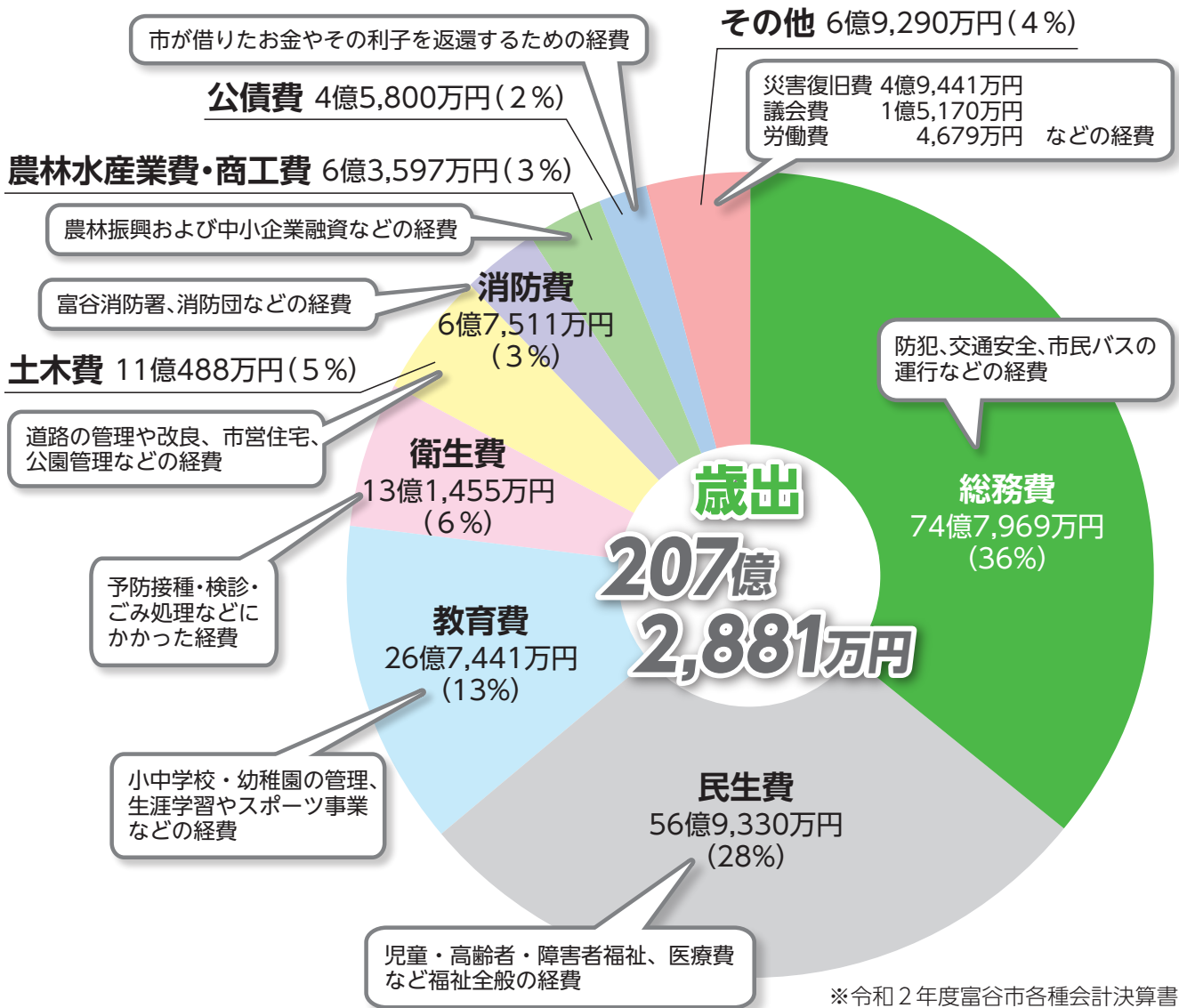
**●●● その他の主なつかいみち ●●●**

- 一般廃棄物収集運搬処理事業 2億3,959万円
- 子ども医療費助成事業 2億2,710万円
- 側溝整備事業 7,974万円
- 町内会館整備事業 4,746万円
- マイナンバー普及促進事業 3,874万円
- 企業誘致事業 1,480万円

# 決算規模

## 一般会計歳出 207億2,881万円

前年度比44%増



※令和2年度富谷市各種会計決算書に記載の金額を掲載しています。

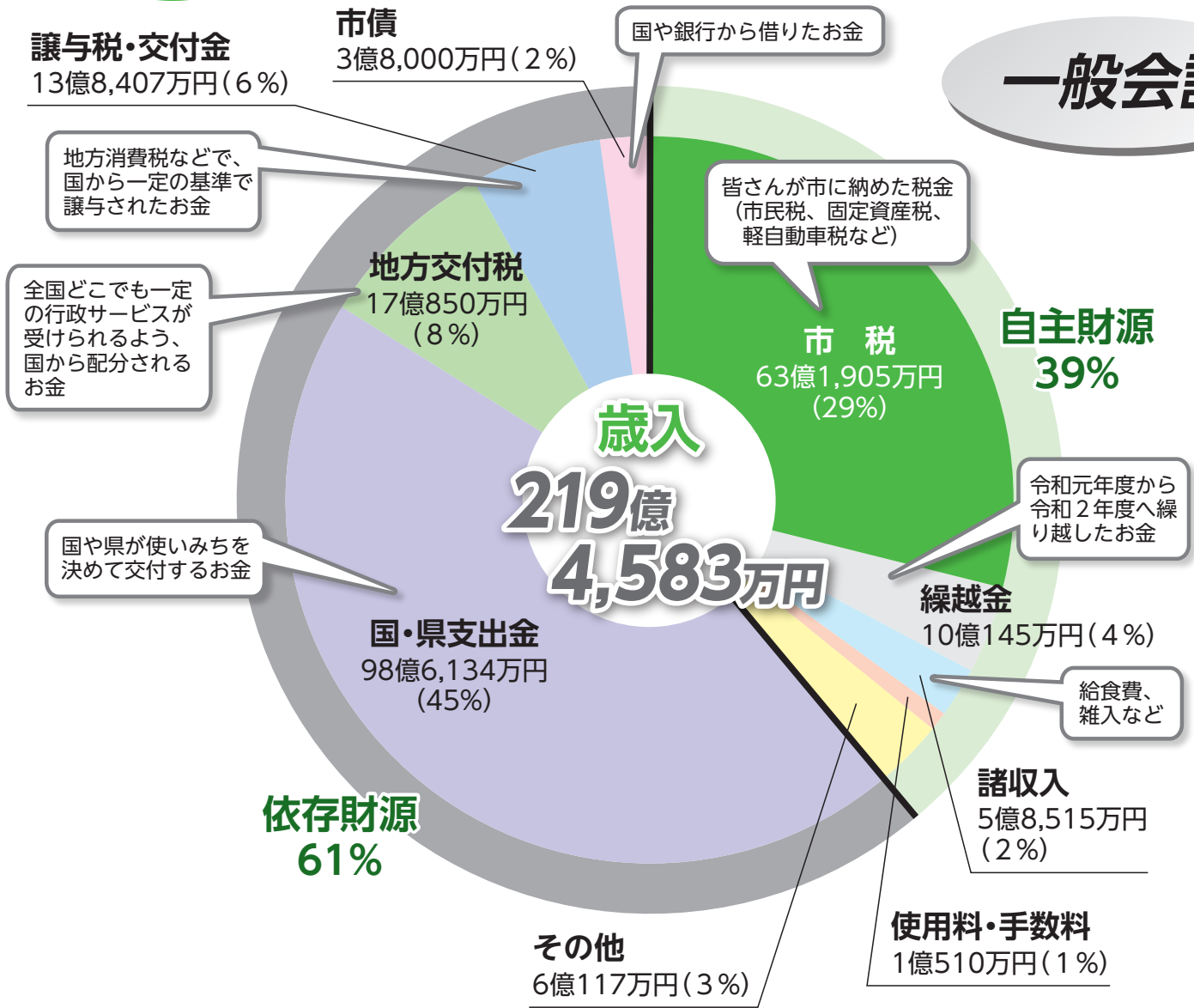
### 令和2年度 各種会計決算の状況

種別	歳入	歳出	収支差引	
一般会計	219億4,583万円	207億2,881万円	12億1,702万円	
特別会計	国民健康保険	37億2,113万円	36億9,473万円	2,640万円
	介護保険	28億6,403万円	27億1,201万円	1億5,202万円
	後期高齢者医療	3億9,744万円	3億8,822万円	922万円
下水道事業	収益的収支	11億2,942万円	10億4,395万円	8,547万円
	資本的収支	1億3,213万円	3億1,385万円	△ 1億8,172万円
水道事業	収益的収支	11億6,023万円	10億4,592万円	1億1,431万円
	資本的収支	132万円	9,413万円	△ 9,281万円



# 前年度に引き続き 過去最大の

## 一般会計



### 歳入歳出のあらまし

令和2年度の一般会計の決算は、歳入が219億4,583万円、歳出が207億2,881万円となり、前年度比で歳入42.6%、歳出44.0%の増となりました。

新型コロナウイルス感染症対策に関連する感染予防と経済的支援として、本市の独自支援策全82事業のうち69事業が、令和2年度決算を迎え、加えて、特別定額給付金給付事業をはじめとする補助事業も多かったことから、前年度に引き続き、歳入歳出ともに過去最大の決算規模となりました。

実質収支（形式収支から翌年度への繰越金2億4,425万円を控除した額）は、9億7,277万円の黒字となり、この黒字分は令和3年度の事業に充てるほか、事業の経済的安定に備え、基金に積み立てます。

プライマリーバランスは、引き続き大幅な黒字を確保しており、また、市債残高は、3年連続で減少しています。

令和2年度の自主財源は約85億円で、歳入の39%を占めています。歳出は特別定額給付金の給付などを行ったことにより総務費が全体の36%を占め、民生費では、児童手当の支給や市立保育所の管理運営、障害者福祉事業、生活保護費の支給などを行いました。

# 令和2年度 決算審査および監査意見 こんな質疑がありました

令和2年度の一般会計・特別会計および公営企業会計について、議長を除く17人の議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、審議しました。同委員会は9月10日から14日まで審査を行い、一般会計、国民健康保険特別会計は賛成多数、それ以外の会計は全会一致で賛成となり、原案のとおり認定するものと決定し、定例会最終日の本会議において可決認定しました。

## 監査委員の 意見

令和2年度一般会計歳入歳出決算は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、歳入歳出ともに増大し、前年度に続き過去最高額となる。

例の制定、債権管理の一元化を見据えたプロジェクトチーム、また、新たに設置された収納対策室の対応に期待する。

特別定額給付金給付事業に対する迅速な対応や、早期に取り組まれた独自対策は、市民から大きな評価を受け、コロナ禍において現状と予測を的確に捉えた取組を評価する。他の事業も、選択と集中により確実に推進された。国庫支出金を除いた収入未済額は、一般会計が1億4725万円、特別会計が1億832万円となる。富谷市債権管理条

組の成果により、単年度収支および実質単年度収支が黒字となり、基金残高は過去最高水準を更新する一方、市債、未償還残高は年々減少している。庁内部局間の連携強化はもとより、事務処理の適正化等、これまで以上に住民ニーズや費用対効果の検証に努められたい。

富谷市代表監査委員

眞山 巴千子

## 総務・財政

### 地域情報化推進

**問** 事業費が、前年度に比べ4倍の880万円となった理由は。

**答** 市公式ホームページのリニューアルに670万円ほど要したためです。

**問** リニューアル後、使いつらい、見にくいとの意見が多く聞かれますが。

**答** リニューアルしたばかりで、さまざまな声をいただいていますので、改善につなげます。

**問** 市のLINEの友だち登録者数と登録者数増への方法は。

**答** 令和2年度末の登録者数は3400人です。現在は6800人ほどに増えています。さまざまな媒体、方法で周知を図ります。

### デマンド型交通

**問** デマンド型交通事業



▲ 地域おこし協力隊

**問** 費670万円の内訳は。

**答** 社会福祉協議会への委託費が492万円、車両の賃貸借が139万円、損害共済保険11万円と燃料代、その他時刻表印刷、コロナ対策費等で20万円です。

**問** 利用予測と実績は。

**答** 1日6人以上の利用を予測していましたが、令和2年度はコロナの影響等で目標に達していませんが、令和3年度に1日当たり6人前後の方が利用しています。

**問** 利用者の方からの意見や要望は。

**答** 指定乗降場の追加と

### 移住支援

**問** 地域おこし協力隊の担当業務は。

**答** 3年度に委嘱した3人と令和2年度に委嘱していた3人が一緒に、観光交流ステーション「とみやど」へ誘客をするためのイベントの企画立案や、管理運営などを担っています。



# 教育・福祉

## 民生費

**問** 民生費は、毎年増え続け、令和2年度56億9000万円になりましたが、要因は。

**答** 児童福祉関連での主な増加要因は、幼児教育の無償化、子ども医療費助成の対象年齢拡大と所得制限の撤廃です。社会福祉、老人福祉関連では、高齢者の増加により事業費が増加傾向にあります。

## 子育て支援

**問** 2年度に拡充した産後ケアの成果と課題は。

**答** ケアの内容や助産院のアドバイスに対して、大変満足という意見が多くありました。課題は、申請からサービス提供まで時間を要することです。今後、委託先の助産院を含めて協議し、改善したいと考えています。

**問** 今後の民生費の見通しは。

**答** 今後も民生費の増が予測され、制度やサービスを精査しながら、予算編成を検討します。

## 障がい福祉

**問** 在宅酸素療法を必要とする方への、災害等による停電時の支援は。

**答** 予備の在宅酸素や自家発電の所有状況を確認しています。大雨被害等が想定されるときは、確認の電話をしています。

## 教育支援センター

**問** 教育支援センターと4年4月開設予定の不登校特別校は、並行して運用されるのですか。

**答** 教育支援センターは今後も継続し、小学生、中学生を受け入れます。不登校特別校は、中学生が受け入れ対象です。

## コンピュータ教育

**問** ICT教育環境が整備されましたが、成果は。

**答** タブレットを活用することにより、なかなか発言できなかった児童が積極的に発言できるようになったり、表現力の向上が見られました。

# 産業・建設

## 企業誘致

**問** 企業への、市独自のアンケートの分析結果は。

**答** 企業が重要視しているのは人材育成、人材確保、そして資金的優遇の3点でした。

**問** 企業と人材のマッチングについては。

**答** TOMI+の塾生と県の「みやぎしごとサポーター」とつなぎ、具体的に進めています。

## 有害鳥獣対策

**問** イノシシ捕獲に対し、ICTを導入した成果は。

**答** 自動捕獲わな、くくりわなセンサー、監視用カメラを導入し、巡回等の負担軽減と捕獲数の増加につなげています。

## 割増商品券

**問** 割増商品券を購入した世帯は。

**答** 販売実績は53.3%でした。

## シルバー人材センター

**問** 5年間の会員数の推移は。

**答** 平成28年453人、29年473人、30年500人、令和元年477人、2年度460人です。

## とみぷら (TOMI+)

**問** とみぷらの課題は。

**答** 2年度の塾生は、270人と多く、うれしいことではありますが、一人一人に寄り添った支援が難しく、現在、課題解決に向けて動いています。  
**問** おたのしみイノベーション実証事業とは。  
**答** 本庁各課の行政課題や地域課題を集約してブラッシュアップし、さらに検証する中で官民協働で問題解決を図る、本市で生まれた新しい取組です。



▲ 囲いわな



▲ 教育支援センター

# 一般会計

## 討論



### 新型コロナ施策と健全財政を評価

**賛成** 塩田 智明 議員

新型コロナウイルス感染症関連では、特例定額給付、本市独自の支援策にスピード感をもって取り組みました。デマンド型交通の

実証運行などの新規施策の推進、農作物有害鳥獣等駆除事業、中小企業制度融資事業、災害対応などに加え、行財政改革にも着実に取り組みました。臨時財政対策債の新規借り入れは昨年度に引き続きゼロを達成、一般会計の基金残高は3年連続で過去最高水準を更新するなど、健全な財政運営がなされています。さらなる市民サービスの向上が図られることを期待し、賛成します。

### より市民要望に応えるよう期待

**反対** 藤原 峻 議員

本市の財政状況、市税は堅調に伸びており、令和2年度決算の市税は約63億1900万円、平成25年度と比べて7億25

00万円増です。実質収支も9億7277万円で増えた。基金は変わらず過去最高水準、市債も減少し、県内でも屈指の健全財政です。本市は市民要望にこたえた新たな施策をさまざま実現しています。しかし、まだまだ課題もあり、住民福祉の向上より市民要望に応えるよう期待を込め、反対します。

## 討論



# 国民健康保険特別会計

### 市民の健康増進に向け適切な運用

**賛成** 佐藤 浩崇 議員

令和2年度は、被保険者数および世帯数が増加に転じた一方、保健給付費は、前年度比4.9ポイント減となりました。

国保税については、前年度比1.4ポイント増の87.9%と、県内でも高い収納率を維持しました。また国保財政調整基金を活用し、被保険者の負担軽減が図られました。その他「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」の策定など、新たな取り組みも進められています。今後とも、市民のさらなる健康の保持増進が図られることを期待して賛成します。

### 多子世帯への均等割減免を

**反対** 渡邊 清美 議員

国保加入者のうち、所得200万円以下が79%を占めています。加入者の7割軽減世帯1206人、5割軽減世

帯852人、2割軽減世帯745人が軽減制度の対象です。国保の均等割は国保にだけある問題であり、子どもの多い世帯ほど負担が大きくなります。2022年度から始まる、子どもの均等割保険税の軽減は未就学児までと限定的です。多子世帯への均等割減免を富谷市としても検討が必要だと考え反対します。

# 一般会計補正予算

## 認可保育所の移転新築ほか

令和3年度一般会計補正予算は、9億6793万円を追加し、歳入歳出の予算総額を165億8697万円とするものです。

東北初となる不登校特例校を開設するための事業費や、新型コロナウイルス感染症による影響を受けた事業者を支援するための事業費等を計上しています。

教職員の配置の下、全ての教科領域で専門の教員が指導にあたります。

**問** どういった人員の配置ですか。

**答** 不登校生徒に十分対応できる専門性、あるいは経験、力量ある方が必要と考えており、それを踏まえて県教委と協議を進めています。

**問** 定員の決め方は。

**答** 大人数がある学校に行きづらい生徒を救う場所であるため、1クラスあたり6人程度、施設の大きさから定員合計20人程度が望ましいと判断しました。

**問** 保護者のケアについての検討は。

**答** 保護者同士のつながりは、非常に重要と捉えています。教育支援センター、不登校特例校、その他さまざまな機関と連携しながら、保護者の方

の相談会や一緒に語り合う会などを進めていきたくと考えています。

**問** 設置先となる西成田コミュニティセンターは一般の利用者もいる施設ですが、不登校特例校設置による影響は。

**答** 直近の利用状況は、土日祝日や平日夜間の利用が大部分を占めています。特例校の設置による利用団体への影響は少ないと考えています。

**問** 子育てサロンを富谷中央公民館へ移転しますが、受け入れ人数の増減や環境整備は。

**答** 受け入れ人数は従来と変わりません。食事やお昼寝ができるスペースなどを整備し、3年中に移転する予定です。

**問** 認可保育所設置事業の、施設の規模と受け入れ人数は。

**答** 施設の延べ床面積は約1100㎡です。受け入れ人数は0歳児が6人、1〜2歳児が12人ずつ、3〜5歳児が20人ずつで、定員合計90人です。

**問** 時短要請等関連事業者支援事業の内容は。

**答** 宮城県が支援決定している時短要請等関連事業者支援金の対象となった事業者へ、本市独自支援策として10万円を上乗せします。緊急事態宣言、または、まん延防止等重

点措置による休業要請および時短要請により協力金支給を受けた飲食店は除かれます。事業者数は、300を見込んでいます。

**問** 不登校特例校と、3年度からスタートした教育支援センターとの違いは。

**答** 教育支援センターでは、支援員、スーパーバイザー等の助言を受けながら、自主的な補充学習あるいはソーシヤルトケアを行うとともに、相談活動を実施しています。不登校特例校では、県

### ●●●主なつかいみち●●●

○認可保育所設置事業 2億 173万円

認可保育園の移転新築に伴い、施設整備費を助成します。  
移転先：三ノ関坂ノ下

○新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金支給事業 1億8,045万円

8月20日から9月12日までの期間中、営業時間短縮の要請に全面的に協力頂いた飲食店へ、前年度または前々年度の1日あたり売上高に応じた協力金を支給します。

○時短要請等関連事業者支援事業 3,000万円

県事業として実施する「宮城県時短要請等関連事業者支援金」(8・9月分)の対象となる市内事業者へ、10万円の本市独自給付を上乗せします。

○不登校特例校整備事業 625万円

東北初となる不登校特例校(富谷中学校西成田教室)を開設(令和4年4月)するため、西成田コミュニティセンターを改修します。

○学校保健特別対策事業 622万円

小中学校における感染症対策を強化するため、サーキュレーター、スポットエアコン他、衛生物品を購入します。

## 第3回定例会(9/1～9/17) 議案採決結果一覧

議案	賛成	反対	議決結果	菊池	佐藤	村上	塩田	渡邊	藤原	金子	青柳	浅野	若生	長谷川	高橋	菅原	出川	浅野	安住	畑山	渡邊	提案者	
				美穂	浩崇	治	智明	清美	峻	透	信義	武志	英俊	る美	正俊	福治	博一	直子	稔幸	和晴	俊一		
富谷市個人情報の保護に関する条例の一部改正について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
富谷市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
富谷市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
富谷市手数料条例の一部改正について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
富谷市高齢者、障害者等の移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の一部改正について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
令和3年度富谷市一般会計補正予算(第6号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
令和3年度富谷市市営墓地特別会計補正予算(第2号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
令和3年度富谷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
令和3年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第2号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	17	0	原案同意	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	長
令和3年度富谷市一般会計補正予算(第7号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	提
人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案
令和2年度富谷市一般会計歳入歳出決算の認定について	15	2	原案認定	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案	
令和2年度富谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	15	2	原案認定	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案	
令和2年度富谷市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	17	0	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案
令和2年度富谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	17	0	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案
令和2年度富谷市下水道事業会計利益処分及び決算の認定について	17	0	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案
令和2年度富谷市水道事業会計利益処分及び決算の認定について	17	0	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案
出産育児一時金の増額を求める意見書について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議員提案
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議員提案

○賛成 ×反対

※議長(渡邊俊一)は採決に加わりません。

※「教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて」は、無記名投票のため各議員の賛否は明示しません。

決算審査  
議案審査  
一般質問  
委員会活動

# 市政を問う

## 一般質問

第3回定例会では11人の議員が質問に立ちました。各議員が行った一般質問の概要を14ページから19ページまで発言順に掲載しています。

一般質問の様子はインターネット録画配信でご覧になれます。

また、一般質問についての詳細は議員にお尋ねください。

### 14p 菅原 福治 議員

- 地方分権一括法施行と市制施行後の状況を問う
- 新型コロナウイルス感染症蔓延に伴い、今後の事業の在り方について

### 14p 畑山 和晴 議員

- 不登校対策について
- 通学路の安全対策について

### 15p 金子 透 議員

- 図書館等複合施設整備を問う

### 15p 出川 博一 議員

- 「とみやど」今後の運営はいかに
- 水道事業 本市への影響は？

### 16p 渡邊 清美 議員

- 高齢者への補聴器購入補助を問う
- 農業施策と鳥獣対策を問う

### 16p 浅野 直子 議員

- 空き家対策の推進について
- 公民館図書室について問う

### 17p 長谷川 る美 議員

- さらなる通学路の安全確保と見守り体制の強化について
- 脱炭素社会の実現について

### 17p 若生 英俊 議員

- 複合施設の具体的整備内容の明示を問う
- 「人生学」発刊の意義と記述内容の誤植・表記の不統一について問う

### 18p 藤原 峻 議員

- 市営墓地について
- 文化のまち富谷としての施策強化は
- 図書館設置について

### 18p 安住 稔幸 議員

- 低所得の多子世帯の保育料に係る負担軽減措置への対応について
- 軽自動車納税証明書オンラインシステム導入を

### 19p 塩田 智明 議員

- 不登校児童等支援の更なる強化を

このページでは議員が提出した一般質問通告書のとおり掲載しており、次ページ以降の見出しと異なる場合があります。

## 問 地方分権20年、市制5年の節目は

### 答 規制緩和等々市民サービス向上へ

地方分権一括法と市制施行の節目にあたり、成果および課題について、次のステップに向けて、どう進めるか問う。

**問** 地方分権一括法施行、これまでの市の成果は。

**答** 外出支援乗車証「とみばす」条例等、16本の条例を制定し地方分権改革に取り組みました。今後も、規制緩和や権限移譲に適切に対応します。

**問** 自治基本条例の検討状況と今後の方向性は。



▲市制施行（2016年10月10日）

**答** 条例の形にこだわらない、ルール策定を検討してきました。今後は、市民活動サポートセンターなどと言われる中間組織の検討を進めます。

**問** 協働のルールを冊子にまとめ、市民が協働の当事者であることを分かるようにしては。

**答** 協働のガイドラインに沿って、ご指摘も含め参考にして進めます。

**問** 仙台市、富谷・黒川地区4市町村の広域連携の現状と課題については。

**答** 仙台とは、泉中央駅

## 問 コロナウイルス経済対策の検証を

### 答 商工会等へのヒアリング実施中

**問** 来年度予算の編成については。

**答** 歳入で影響が生じることは見込んでいますが、

不測の事態に備えるため、財政調整基金等を確保しており市民の皆様に影響が生じないよう努めます。



菅原 福治 議員

までの交通問題を最重要課題にしております。3

町村とは、医療施設の誘致に向けて連携します。

**問** ①今後の人口増加②交通の問題③成田二期工業用地の企業誘致は。

**答** ①2060年6万人の確保が目標です。②国交省や県、何より仙台市の協力が重要です。今後も情報共有を図り、採算性等調査業務を進めます。③市街化区域編入については、熟度をあげて取り組みます。

## 問 不登校対策について問う

### 答 未然防止に努めています

**問** これまでの不登校対策の成果と課題は。

**答** 不登校の問題は喫緊の課題であり、改善に取り組んでいます。

学校の組織的な対応や保護者への支援、市教育センターによる来所支援、相談支援、家庭支援を行っているおり、学校だけでなく、多くの関係機関における不登校の児童生徒、保護者を支援する仕組みが整ってきており、大きな成果と考えています。



▲西成田コミュニティセンター

**問** 不登校特例校の設置についての展望は。

**答** 不登校特例校は、来年4月に市内の中学生を対象にした分教室型の富谷中学校西成田教室として開設されます。西成田コミュニティセンター内に設置するもので、専任の教員が配置され、生徒の実態に配慮した特別に編成された教育課程に基づく教育を行うもので、恵まれた環境の中と地域の方々からの支援の下、学ぶ楽しさと成長する喜びを感じて、不登校の生徒が一歩踏み出せる居場所として考えています。

## 問 通学路の安全対策について問う

### 答 各学校に通学路の安全確認を指示

**問** 千葉県八街市の事故後、危険箇所の確認は再度行いましたか。

**答** 学校、PTA、地域、道路管理者、警察や関係機関が連携し、合同点検を実施します。

**問** 地域の方や学校、PTA等からの要望や情報収集は必要では。

**答** 富谷市通学路交通安全

全プログラムを策定し、学校やPTA、地域からの要望や情報提供などの協力の下、教育委員会と都市整備課、防災安全課や道路管理者、警察等での合同点検を定期的に実施しており、今回の事故を受けての合同点検と併せて調査し、順次対策を実施します。

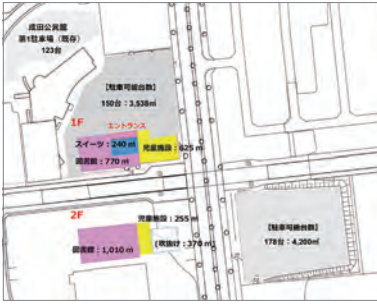


畑山 和晴 議員

## 問 図書館等複合施設整備を問う

### 答 整備に向けて取り組みを進めます

富谷市複合施設整備基  
本方針及び民間活力導入  
可能性調査が6月に示さ  
れました。図書館単独整  
備から変更が重ねられ現  
在に至りました。早くも  
令和7年度末供用開始  
で、当初計画から大幅に  
遅れる事や、施設近辺の  
交通環境対策が不十分な  
事など、さまざまな問題  
が予見でき、変更は必須  
と考えます。将来に不安  
を抱えたまま施設を整備  
し、次世代に引き渡すべ  
きではありません。



▲ 整備計画

### 問 施設建物と駐車場は同一の敷地であるべきと考えますが見解は。

一般的に施設建物と駐車場は同一敷地が望ましいのですが、市有地を有効活用する観点から敷地内に237台、第2駐車場に178台の整備をする方向を示しました。

### 問 成田公民館西側または北側の民地を購入し、さらには市道の変更または廃止して土地を有効活用すべきと考えますが見解は。

成田公民館敷地と第2駐車場の活用を軸に、基本方針を策定しました。新たな財政負担が伴う用地買収と、市道の変更、廃止等による土地の有効活用は困難と考えます。

### 問 成田地下道は、冬期階段に雪が積もることがありますが見解は。

従来も冬期の成田公民館のイベントで第2駐車場を使用しています。冬期で不慣れた状況は理解していますが、限られた財源での整備方針です。

### 問 図書館単独もしくは図書館とスイーツステーションを先行整備して、図書館の早期の供用開始を目指すべきと考えますが見解は。

3施設の連携、統合等の可能性、相乗効果を検討しました。複合化によって、施設利用の多様性や魅力が高まり、共有空間の統合により、整備費が抑えられながらも施設の拡充が期待できることから、複合施設での整備が妥当と判断しました。



金子 透 議員

## 問 「とみやど」今後の運営はいかに

### 答 自立運営の体制整備に取り組み

富谷宿観光交流ステーション「とみやど」は、当初、令和2年10月のオープンを予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年5月15日オープンとなりました。

### 問 観光交流拠点推進事業の進捗状況は。

本事業は、株式会社VISIT東北に業務委託し、主に「とみやど」の自立運営に向けた地域の自立運営、テストマーケティング、年間を通した誘客プロモーションといたった3点を軸にした業務を進めています。

### 問 地域おこし協力隊の委託費および協力隊員の今後は。

8人の方を地域おこし協力隊として委嘱し、民間事業者に活動支援業務を委託しています。「とみやど」の運営に6人、農業クリエイターとして2人が、地域活性化に向けた活動に取り組んでいます。

### 問 1人当たりの予算額が480万円、8人の場合、来年度の委託費は3840万円の予定です。最長3年の委嘱が可能で、今年度委嘱した3人は、基本的には、3年後は地域商社で持たれることを想定しています。昨年委嘱した3人は、地域商社ではなく、個人で起

### 業なり、定住されることを目指しています。

「とみやど」自立のための収益事業の柱は、6次化を含む商品開発、ふるさと納税のポータルサイトの運営、観光等を含めたツーリズムの促進の3つを踏まえながら進めています。

### 問 ふるさと納税のポータルサイトの運営は、返礼品の金額が1500万円ですが、自立可能な事業として大丈夫ですか。

6次化を含めた商品開発もセットで進めていき、売れる商品を見出し、収益事業の一つとして考えているところです。



▲ とみやど



出川 博一 議員

## 問 高齢者への補聴器補助を求める

### 答 検討します

加齢性難聴は、誰にでも起こる可能性があります。

難聴の早期発見には、定期的な受診も必要です。難聴は、認知症発症のリスクも高くなるとの報告もあります。

聴力を補うには補聴器が必要ですが、補聴器は高価なものが多く、購入補助を講じてほしいとの声が多くあります。

市として受診の啓発が必要では。

答 介護予防教室等を通じて受診の啓発に努めます。

問 高齢者の補聴器購入補助が必要では。

答 県内外の自治体の状況を注視し検討します。

## 問 特産品栽培への専門家支援は

### 答 今後も支援、指導を継続します

鳥獣被害は身近な問題になっていきます。

農業施策の充実には、農家への補助の見直し、新規就農者への支援が必要と考えます。

問 鳥獣の生息数、生息場所を把握していますか。

答 生息数は、行動範囲が広く把握困難な状況で、出現場所は、目撃情報や被害情報で把握している現状です。

問 特産品への専門家支援が必要では。

答 特産品への専門家支援が必要では。



渡邊 清美 議員

問 健診項目に聴覚健診を入れる検討が必要では。

答 簡易検査でも静かな環境、スペースが必要で

す。医療機関受診の勧奨を図っていきます。

問 今後も引き続き、指導や支援を継続し、安定した生産につながるよう支援します。

答 新規就農者への支援が必要では。

問 昨年は3人から問い合わせがありました。希望者に対しては随時、協議の場を設け対応しています。新規就農者へのパンフレットは県が作成したものを活用しています。

問 空き家等の適正な維持管理において、状態が悪い場合には近隣住民の不快感や諸動物の繁殖、異臭など生活環境にも悪影響を及ぼしています。

所有者への適切な指示や対応、課題など現状を問います。

問 市民向けセミナーの開催は。

答 11月開催に向けて準備を進めています。空き家の問題、管理、相続の知識や片づけなどの講演内容を考えています。

## 問 空き家対策の推進を

### 答 継続的な啓発に取り組みます

空き家等の適正な維持管理において、状態が悪い場合には近隣住民の不快感や諸動物の繁殖、異臭など生活環境にも悪影響を及ぼしています。

所有者への適切な指示や対応、課題など現状を問います。

問 市民向けセミナーの開催は。

答 11月開催に向けて準備を進めています。空き家の問題、管理、相続の知識や片づけなどの講演内容を考えています。

問 空き家の利活用についての取り組みは。

答 空き家利活用促進事業を展開しており、この事業に登録した市内の業者を紹介しています。

問 空き地、空き家への課題と今後への対応は。

答 課題は、相続問題や所有者の高齢化、地縁意識の希薄化などにより、自己管理が行き届かず、衛生面や景観・安全面等、個別に段階的対応が増加することが予想されます。今後は、継続的な啓発や

問 公民館図書室の課題は

答 スペースの制限などです

問 公民館図書室の

問 公民館図書室の

答 空き家利活用促進事業を展開しており、この事業に登録した市内の業者を紹介しています。

問 空き地、空き家への課題と今後への対応は。

答 課題は、相続問題や所有者の高齢化、地縁意識の希薄化などにより、自己管理が行き届かず、衛生面や景観・安全面等、個別に段階的対応が増加することが予想されます。今後は、継続的な啓発や

問 市民向けセミナーの開催は。

答 11月開催に向けて準備を進めています。空き家の問題、管理、相続の知識や片づけなどの講演内容を考えています。

問 空き家の利活用についての取り組みは。

答 空き家利活用促進事業を展開しており、この事業に登録した市内の業者を紹介しています。

問 空き地、空き家への課題と今後への対応は。

答 課題は、相続問題や所有者の高齢化、地縁意識の希薄化などにより、自己管理が行き届かず、衛生面や景観・安全面等、個別に段階的対応が増加することが予想されます。今後は、継続的な啓発や

問 公民館図書室の課題は

答 スペースの制限などです

問 公民館図書室の

問 公民館図書室の



浅野 直子 議員

問 次世代に向けた民間活用で、シェアハウスやテレワーク等の活用は。

答 検討していきます。

問 住宅確保要配慮者等へ空き家支援は。

答 情報を入手しながら、今後検討していきます。

問 特例措置の認識等は。

答 ホームページで啓発しています。

問 公民館図書室の

問 公民館図書室の

問 公民館図書室の

問 公民館図書室の

問 公民館図書室の

問 公民館図書室の

問 公民館図書室の



▲ 箱わな

問 公民館図書室の

問 公民館図書室の

問 公民館図書室の

問 公民館図書室の

問 公民館図書室の



### 問 通学路の安全確保と見守り強化は

答 より一層安全確保します

問 スクールガードなど不足について市の認識は。

答 高齢化や後継者が不足の課題が考えられるため、スクールガード養成講習会を開催し、資質向上と新たな人員の確保に努めています。

問 ローソン富ヶ丘店から鷹乃杜に向かう歩車道へのガードパイプ設置の考えは。

答 住宅等の出入口が多数存在しているため、住民との合意形成が不可欠であることや、現状30km/hの速度規制やポール設置も適宜なされていることから、

今後の研究課題とします。

問 通学路のゾーン30への取り組みは。

答 大清水一丁目からあけの平に接続するエリアを予定し、準備を進めています。

問 通学路の表示や標識等の設置を見直す考えは。

答 設置する必要が生じた際は、道路管理者や地

元町内会の意見を聞きながら対応します。

問 富ヶ丘交差点の歩道橋建設の整備スケジュールは。

答 現在予備設計が完了し、秋には説明会を開催する意向だそうです。今年度中に設計業務を完了させるよう取り組んでいるそうです。

### 問 脱炭素社会の実現について

答 ゼロカーボン戦略を策定中です

問 市が目指すゼロカーボンシティとは。

答 2050年

までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを目指し産学官・市民協働で取り組み、地球環境への貢献に

つなぐまちづくりを、目指して行きたいと考えています。

問 脱炭素社会実現のための障害となる高コスト構造についての考えは。

答 ゼロカーボン戦略や地球温暖化対策実行計画の中で具体的な施策を検討します。

### 問 立地最適地は大清水市有地では

答 渋滞問題を抱え最適地ではない

成田公民館敷地内に複合施設を整備すれば、大ホールを利用する各種事業等に大きな制約を受けることになり、大清水市有地が最適地と考えます。

問 成田公民館敷地内の優位性は。

答 渋滞問題を抱える大清水市有地は適地と考えていません。

問 適地比較を行うべきでは。

答 調査特別委員会の意見であれば検討します。

問 複合施設整備について、市民の意見聴取は。

答 将来を生きる一つの糧になれば

### 問 「人生学」復刻版発刊のねらいは

7月に発刊された内ヶ崎作三郎著「人生学」復刻版・抄録(部数1000冊)は誤植・誤記がかなりあり、著作の信頼を損ね、発行元の本市の信用を傷つけるものです。県図書館にある原著を精読しましたが、不適切箇所は数十か所に及びます。原著作のかなりの部分に人種的偏見などの不適切な記述があるなど、100年前の講演録をもとにした原著作の復刻にあたっては慎重な判断が必要でした。

問 編集委員長と編集委員の構成は。

答 編集委員長は宮城大の図書館に置いてあります。

問 8月初めには誤りを指摘していますが、訂正箇所はどれくらいですか。

答 現在確認しています。

問 公費を使って復刻すべきでなかったと思いますが、市長はいつ復刻を決定しましたか。

答 記念館設置の準備の中で決定しました。

答 市政懇談会の場で説明する予定です。



若生 英俊 議員



問 調査特別委員会の意見であれば検討します。

答 記念館設置の準備の中で決定しました。

**問** 市営墓地の生前予約の開始時期は

**答** 令和5年度前半をめどに

**問** 市営墓地の価格は。

**答** 造成工事費用や寺院

等の販売価格などを参考にしながら設定します。

**問** 公営墓地の需要が高い時の増設は。

**答** 段階的に見直すこと  
にしており、今後の整備  
の中で検討したいと考え  
ています。

**問** 身寄りのない人の死  
後事務について検討は。

**答** 遺品整理や葬儀、債  
務整理、不動産の処分な  
ど関係機関との連携が必  
ずです。委託先も含めて  
調査研究していきます。



**問** 文化のまち富谷として施策強化は

**答** 行政財産の利用促進を図ります

**問** 文化芸術基本法や文  
化芸術振興計画を推進し  
ていく考えですか。

**答** 文化芸術を支えるこ  
とは行政の役割と考えて  
います。

**問** 文化芸術振興条例を  
利用、気仙沼が制定して  
います。富谷市で検討は  
います。

**答** 調査研究を進めたい  
と考えています。

**問** 行政財産の貸し出し  
に関する市の見解は。

**答** 申請の際に、本市の  
施策や事業との関係性を  
精査した上で貸し出しを  
しています。今後も同様  
に利用促進を図りたいと  
考えています。



藤原 峻 議員

**問** 軽自動車納税証明書の電子化を

**答** 動向を見極め、システム改修等進める

普通自動車などの自動  
車登録・検査、保管場所

証明、車体課税の納税・

申告等の行政手続をオン  
ラインで一括して実施可  
能とする「自動車保有関

係手続のワンストップ  
サービス（OSS）」が

構築され、利用されてい  
ます。

その一つは、納税証明  
書の電子化です。継続検  
査等で、自動車税納税証  
明書を提示しますが、運  
輸支局等の職員がオンラ  
インで納税状況を確認で



き、納税証明書の提示が  
省略可能となりました。  
このことにより納税証明  
書の確認事務が大幅に省  
力されました。

しかし、軽自動車にお  
いては、まだ電子化が進  
んでおらず、軽自動車税  
の納税証明書のオンライ  
ンによる確認事務ができ  
ていない状況です。

政府は、令和5年1月  
開始で軽自動車税関係手  
続の電子化を推進してい



安住 稔幸 議員

ます。軽自動車税の納税  
証明の電子化などです。

**問** 富谷市においても、  
納税者とディーラーおよ  
び行政の利便性、業務の  
効率化を図るために、シ  
ステムの導入、改修に取  
りかかるべきでは。

**答** 近隣自治体の動向、  
費用対効果等を見極めな  
がら、必要な場合、シス  
テム改修等を計画的に進  
めていきます。

**問** 低所得多子世帯保育料の軽減を

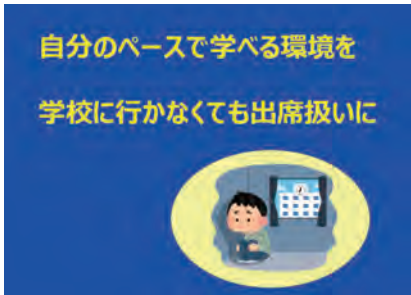
**答** 政令の改正に合わせて対応する

内閣府より、複数の特  
定被監護者等がある教  
育・保育給付認定保護者  
に関する利用者負担額の  
特例に係る対応について  
通知がなされました。

国は、本年10月をめど  
に未就園児や認可外に通  
う子どもを、カウントの  
対象にするとしています。

**問** 政令が出た時の対応  
を質問します。

**答** 政令の改正に合わせ  
て速やかに対応します。



**問 不登校児童等支援さらなる強化を**

**答 オンライン学習指導の実施を検討**

令和元年度の不登校児童生徒は、全国で約18万1000人を超え、7年連続で増加し、過去最多となりました。不登校は、今やどの学校、学年でも起こり得る事象です。

**問** 本市は、今年4月に富谷市教育支援センターを開設し、不登校児童生徒、その保護者等の相談や支援を強化しましたが、さらなる体制強化が必要であると考えます。

**答** 本市は、今年4月に富谷市教育支援センターを開設し、不登校児童生徒、その保護者等の相談や支援を強化しましたが、さらなる体制強化が必要であると考えます。

**問** 今後、不登校児童生徒の増加が見込まれます。さらなる体制強化が必要では

**答** スクールソーシャルワーカー、医療機関等と、これまで以上に連携を密にし、体制を強化したいと考えています。

**問** タブレットの活用は、オンライン教材による学習等を行っています。

**答** 小学校は全国平均とほぼ同じで、中学校は県平均より1%程度下回っています。全国平均並みに推移しています。

**問** 教育支援センターで強化した機能の評価は。

**答** 支援員を増やし、学習支援の他、悩みや進路の相談などに取り組みました。来所支援の児童生徒数、相談件数ともに増加しており、安心できる場所、相談しやすい体制の評価と、捉えています。

**問** 今後、相談件数の増加が見込まれます。さらなる体制強化が必要では

**答** 学校全体で未然防止に努めています。児童生徒の悩みを聞き、友人関係、学級担任との相性等を考慮して、次の学年の学級編成をしています。

**問** 保護者のケアは。

**答** 不登校解決に向けた大変重要な支援の一つであり、相談体制を整えてきました。今後も、保護者に寄り添い、きめ細やかな対応に努めます。

**問** 不登校の早期対応が重要では。

**答** 学校全体で未然防止に努めています。児童生徒の悩みを聞き、友人関係、学級担任との相性等を考慮して、次の学年の学級編成をしています。

**問** 自宅等でのオンライン学習指導を行い、出席扱いにできませんか。

**答** 文部科学省も認めており、実現できるような検討します。

**問** 保護者のケアは。

**答** 不登校解決に向けた大変重要な支援の一つであり、相談体制を整えてきました。今後も、保護者に寄り添い、きめ細やかな対応に努めます。

**問** 不登校の早期対応が重要では。

**答** 学校全体で未然防止に努めています。児童生徒の悩みを聞き、友人関係、学級担任との相性等を考慮して、次の学年の学級編成をしています。

**問** 自宅等でのオンライン学習指導を行い、出席扱いにできませんか。

**答** 文部科学省も認めており、実現できるような検討します。

**問** 保護者のケアは。

**答** 不登校解決に向けた大変重要な支援の一つであり、相談体制を整えてきました。今後も、保護者に寄り添い、きめ細やかな対応に努めます。

**問** 不登校の早期対応が重要では。

**答** 学校全体で未然防止に努めています。児童生徒の悩みを聞き、友人関係、学級担任との相性等を考慮して、次の学年の学級編成をしています。

**問** 自宅等でのオンライン学習指導を行い、出席扱いにできませんか。

**答** 文部科学省も認めており、実現できるような検討します。

**問** 保護者のケアは。

**答** 不登校解決に向けた大変重要な支援の一つであり、相談体制を整えてきました。今後も、保護者に寄り添い、きめ細やかな対応に努めます。

**問** 不登校の早期対応が重要では。

**答** 学校全体で未然防止に努めています。児童生徒の悩みを聞き、友人関係、学級担任との相性等を考慮して、次の学年の学級編成をしています。

**問** 自宅等でのオンライン学習指導を行い、出席扱いにできませんか。

**答** 文部科学省も認めており、実現できるような検討します。

**問** 保護者のケアは。

**答** 不登校解決に向けた大変重要な支援の一つであり、相談体制を整えてきました。今後も、保護者に寄り添い、きめ細やかな対応に努めます。

**問** 不登校の早期対応が重要では。

**答** 学校全体で未然防止に努めています。児童生徒の悩みを聞き、友人関係、学級担任との相性等を考慮して、次の学年の学級編成をしています。

**問** 自宅等でのオンライン学習指導を行い、出席扱いにできませんか。

**答** 文部科学省も認めており、実現できるような検討します。

**問** 保護者のケアは。

**答** 不登校解決に向けた大変重要な支援の一つであり、相談体制を整えてきました。今後も、保護者に寄り添い、きめ細やかな対応に努めます。

**問** 不登校の早期対応が重要では。

**答** 学校全体で未然防止に努めています。児童生徒の悩みを聞き、友人関係、学級担任との相性等を考慮して、次の学年の学級編成をしています。

**問** 自宅等でのオンライン学習指導を行い、出席扱いにできませんか。

**答** 文部科学省も認めており、実現できるような検討します。

**問** 保護者のケアは。

**答** 不登校解決に向けた大変重要な支援の一つであり、相談体制を整えてきました。今後も、保護者に寄り添い、きめ細やかな対応に努めます。

**問** 不登校の早期対応が重要では。

**答** 学校全体で未然防止に努めています。児童生徒の悩みを聞き、友人関係、学級担任との相性等を考慮して、次の学年の学級編成をしています。

**問** 自宅等でのオンライン学習指導を行い、出席扱いにできませんか。

**答** 文部科学省も認めており、実現できるような検討します。

**問** 保護者のケアは。

**答** 不登校解決に向けた大変重要な支援の一つであり、相談体制を整えてきました。今後も、保護者に寄り添い、きめ細やかな対応に努めます。

**問** 不登校の早期対応が重要では。

**答** 学校全体で未然防止に努めています。児童生徒の悩みを聞き、友人関係、学級担任との相性等を考慮して、次の学年の学級編成をしています。



塩田 智明 議員

**国に意見書を提出しました**

**コロナ禍による厳しい財政状況に対処し 地方税財源の充実を求める意見書**

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地方自治体は、コロナ禍への対応はもとより、地域の課題など増嵩する財政需要に見合う財源が求められており、地方税制の充実確保が強く望まれる。

国は、令和4年度地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

- 1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
- 2 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。新型コロナ対策等の措置は、本来国庫補助金などにより国において対応すべきものである。現行の特例措置は今回限りとし、期限をもって確実に終了すること。
- 3 固定資産税の課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置は、令和3年度限りとする。
- 4 自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長は、更なる延長は断じて行わないこと。
- 5 炭素に係る税を創設又は拡充の場合は、一部を地方税又は地方譲与税として地方に配分すること。

提出先 内閣総理大臣ほか

**出産育児一時金の増額を求める意見書**

政府は、平成21年から出産育児一時金を原則42万円に増額し、出産する人の負担軽減を図っています。

しかし、厚生労働省によると令和元年度の妊婦が負担した出産費用は、正常分娩の場合、全国平均額で約52万4,000円となっています。出産にかかる費用は年々増加し、現在の42万円の出産育児一時金の支給額では賅えない状況になっており、出産する人の持ち出し額が増加しています。

また、令和元年の出生数は85万5,234人で、前年に比べ5万3,166人減少し過去最少となりました。少子化対策は、わが国の重要課題の一つで、子育てのスタート期に当たる出産時の経済的な支援策を強化することは欠かせません。

少子化克服とともに、安心して子どもを産み育てられる環境を整えるために、出産育児一時金は無くてはならない大事な施策です。

政府に対し、出産する人の負担軽減のため、現在の出産費用に見合う、出産育児一時金の引き上げを強く求めます。

提出先 内閣総理大臣ほか

※意見書とは、議会在、国や県に提出する要望書です。

よりよいまちづくりのために

# 調査 しました

(7月～9月実施)

委員会活動

## 各委員会の説明

総務常任委員会…市の財政、市税、防災、まちづくり、環境衛生等について調査や審査をします。

教育民生常任委員会…教育、子育て、福祉、健康保険、介護保険等について調査や審査をします。

産業建設常任委員会…経済振興、道路、河川、都市整備、上下水道等について調査や審査をします。

◎調査日 7月20日  
可燃ごみ焼却施設の解体が完了し更地にされた事、粗大ごみや再資源物が適法、適正に処理されている事を確認しました。同センター敷地は仙台市の所有で、令和12年度以降は「土地使用貸借」の継続ができない旨の申し入れを受けた事で、令

和11年度中には全ての施設を解体し更地にして仙台市へ返還されます。今後は焼却処分や最終処分、また、再資源化のための中間処理施設の整備は必須です。場所の選定、財源、施設近辺住民の方々への説明など整備に向けたスケジュールを

早急に策定する事や、SDGsの観点から資源循環の実現可能な施設の整備を求めます。ごみ処理等関連施策や持続可能な循環型社会の構築には、全ての市民、事業者の理解と協力が不可欠です。この件に対しても十分に努める事を求めます。

## 一般廃棄物処理の現状と 今後について 市民、事業者の理解と 協力が不可欠

調査先：清掃センター



総務常任委員会

## 富谷市教育支援センターについて 保護者のメンタルケア等 個別対応に課題

調査先：教育委員会

◎調査日 8月6日

不登校児童生徒の社会的自立に資する施策として、「教育支援センター」の調査を行いました。

黒川けやき教室（適応指導）の機能と、「とみや子どもの心のケアハウス」を統合し、4月、教育支援センターが設置されました。

設置目的は、不登校児



児童生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善等のための相談・指導を行い、学校への復帰や社会的自立に資することを基本とするとしています。

児童生徒の「閉じられ、低下した心のエネルギーを高めていく」ためには、

多くの時間と人手が必要であり、保護者のメンタルケアや、当日受け入れ時の個別対応への課題が見られました。

令和4年4月に開設される不登校特例校と併せ、さらなる教育相談体制の充実に期待します。

## 「とみやど」拠点の地域振興と 観光施策について 観光交流拠点と 富谷塾生実践の場

調査先：産業観光課

◎調査日 7月28日

富谷市観光交流ステーション「とみやど」を調査しました。

5月の開所後、市内外より多くの方々のご来場をいただき、7月までの3か月間合計で来訪者6万1260人となり、初年度目標である10万人越えは確実と思います。

富谷宿開宿400年の

節目にあたり、「とみやど」開業の目的は、①本市の偉人である内ヶ崎作三郎氏の記念館、市内初の観光拠点の場。②まちづくり産業交流プラザ「とみぷら」で起業を目指している塾生実践提供の場。③交流人口拡大に繋げる場の3点です。

今後は、「とみやど」

自立運営モデル事業計画に基づき、指定管理を念頭に民間の地域商社を立ちあげ、本市からも100万円の出資を行うこととなりました。

当面の課題は、顧客のデータ化等により、リピーターの確保に努めることです。



# 議員全員協議会を開催しました

8月25日

- (1) 提出予定議案等に関する案件
  - ① 令和3年度富谷市一般会計補正予算(第6号)
  - ② 令和3年度富谷市市営墓地特別会計補正予算(第2号)
  - ③ 令和3年度富谷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
  - ④ 令和3年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第2号)
  - ⑤ 教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて
  - ⑥ 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
- (2) 提出予定議案以外で説明を要する案件
  - ① 第一次富谷市地方創生総合戦略取組状況について
  - ② 不登校特例校 富谷中学校 西成田教室の開設について
  - ③ 地域振興組織設立について
- (3) その他
  - ① コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について
  - ② 富谷市議会申合せ事項について
  - ③ 人事及び諮問案件の表決の確認について
  - ④ 決算審査特別委員会正副委員長の互選について

9月14日

- (1) 追加提出予定議案等に関する案件
  - ① 議案第11号 令和3年度富谷市一般会計補正予算(第7号)

9月17日

- (1) 各委員会の委員の選任、報告
  - ① 各常任委員会委員の選任について
  - ② 各常任委員会正副委員長の報告について
  - ③ 議会広報調査特別委員会委員選任について
  - ④ 議会広報調査特別委員会正副委員長の報告について
  - ⑤ 議会運営委員会委員の選任について
  - ⑥ 議会運営委員会正副委員長の報告について
  - ⑦ 仙台市・富谷市広域行政協議会委員の選任について
  - ⑧ 富谷市都市計画審議会委員の変更について
  - ⑨ 議席の変更について

## 議会活性化調査特別委員会

市民に信頼され、開かれた議会、市民の負託に込められる議会を目指し、調査します。

9月14日

### 議会活性化調査特別委員会

調査報告書について  
その他

9月17日

### 議会活性化調査特別委員会中間報告

議員問討議について  
調査概要：前期の議会活性化調査特別委員会より、申し送り事項の一つとして、調査を行っていましたが、さらなる調査、研究が必要と判断したものです。  
長期欠席議員の議員報酬減額条例について  
調査概要：条例の可否について慎重なる協議を行いました。現段階では結論を急ぐことなく、個々においての調査を継続することとし、本委員会としての調査は終了するものとしました。

富谷市議会災害行動指針・マニュアルについて  
調査概要：本市議会において、「富谷市議会災害行動指針」及び「富谷市議会災害行動マニュアル」(平成31年3月15日適用)を策定しました。  
昨年、マニュアル策定後に発生した災害時におけるマニュアルの運用を踏まえ、より適

切で、スムーズな運用を図るため、慎重な検証を行い、「富谷市議会災害行動マニュアル」の改訂をもって調査終了としました。  
一般質問通告書のホームページ掲載について  
調査概要：本市議会ではこれまで、一般質問の件名一覧のみをホームページに掲載していましたが、一般質問の質問要旨や質問項目についても広く周知することを目的とし、通告書をホームページに掲載することとしました。  
また、掲載開始時期は、令和3年第1回定例会からとするとともに、通告書のレイアウトの統一を図りました。

常任委員会の所管事務調査報告について  
調査概要：各常任委員会における所管事務調査について、広く周知することを目的とし、各常任委員長より議長あてに提出される同内容の報告書をホームページに掲載することとしました。

また、掲載開始時期は、令和3年第3回定例会終了後の所管事務調査分から実施するとともに、報告書のレイアウトの統一を図りました。

## 富谷市民図書館等に関する調査特別委員会

図書館、スイーツテーション、児童屋内遊戯施設を複合施設にすることについて、民間活力の活用を含め、調査します。

7月15日

富谷市民図書館等複合施設整備に係る基本方針(報告書)について

9月14日

富谷市民図書館等複合施設整備について

8月5日

富谷市民図書館等複合施設整備に係る基本方針(報告書)について



## 教育長に 及川 芳彦さん 再任



任期満了に伴い、市長より再び候補者として同意を求められ、全員賛成で可決しました。任期は、令和6年10月14日までです。

# 富谷市

## シルバー人材センターから

### 支援の要望



令和3年8月18日

富谷市シルバー人材センターの鈴木理事長から議長に、超高齢社会にチャレンジするシルバー人材センターの決意と支援の要望書が提出されました。

## 人事

人権擁護委員について、市長から推薦があり、全員賛成で可決しました。

### 人権擁護委員に

境野 修さん(日吉台)推薦

## 陳情書

- 辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情  
「新しい提案」実行委員会  
責任者 安里 長従  
全国青年司法書士協議会  
会長 阿部健太郎
- 地方公共団体の予算執行と財政運営の信頼性向上を求める陳情書  
クルマ減税会 コテイシサン減税会  
日下 純一  
全て議員配付となりました。

## 請願と陳情の提出方法

市民のみなさんは、市が行うことに関して意見や要望がある場合、請願書や陳情書を提出することができます。

- 請願書  
請願書を提出する場合は、市議会議員の紹介が必要になります。請願書が提出されると、本会議で議長が所管事項に該当する委員会へ付託し、委員会で審査した後、本会議で採択か不採択、または保留を決定します。その結果は、請願者に通知されます。また、採択した請願について議会が認めた場合は、執行機関ほか関係機関に処理の経過と結果の報告を求めることになります。
- 陳情書  
陳情書を提出する場合は、市議会議員の紹介は不要です。陳情書は議員に配付されます。

請願書・陳情書について、詳しくは富谷市議会HPをご覧ください。

## 次回の定例会は11月下旬開会予定です。

詳しくは議会事務局へお問い合わせください。  
TEL 022-358-0622

### 富谷市議会録画配信URL

<http://www.tomiya-city.stream.jfit.co.jp/>

富谷市議会インターネット 検索

### 掲載記事の訂正とお詫び

とみや議会だより第20号の掲載記事で誤りがありました。訂正してお詫びいたします。  
4ページ上段 見出し  
(誤) 9,977万円 (正) 998万円



# 未来へはばだけ とみやっ子 富谷保育所



富谷市には四ヶ所の公立保育所があります。その中のひとつが、開所して三十年になる富谷保育所です。当保育所には広い所庭があり、天気が良い日には子どもたちの元気な声が響きます。マラソンから始まり、フープ、ハードル、バランスバーを使つてのサーキット遊び。たくさん身体を動かして、体力作りをしな



がら遊んでいます。小さい子どもたちも遊びや築山登りなどを楽しみ、可愛い笑顔を見せてくれます。年齢に合った経験を積み重ねることで、友達に手を差しのべる姿や「頑張れ、すごいね」という言葉が自然に聞かれるなど、思いやりの気持ちも育っています。これからも子どもたちの気持ちに寄り添いながら、保護者の皆さまと共に愛情をかけて育てていく「共育て」ができる保育所でありたいと思います。

## <表紙紹介>

### 色づく桜並木 富谷市役所

青空に浮かぶ羽雲(はねぐも)、アクセス道路両側の桜の紅葉と松。そろそろ暖かいものが欲しくなる時期ですね。

平成28年10月10日に宮城県内14番目の市として誕生した富谷市は、市制施行5周年を迎えました。富谷宿開宿400年を記念して整備された富谷宿観光交流ステーション「とみやど」においても、市内外から多くの方が訪れ、来場者数がのべ10万

## 編集後記

人を超えました。10月10日にはオープン記念セレモニーが開催され、本市における新たな賑わいが生まれています。新型コロナウイルスの早期収束を願いつつ、感染拡大防止にご協力いただいている皆さまに、心より敬意と感謝を申し上げます。

広報委員 佐藤 浩宗

## 地域の集い「行ってみよう会」

やまだひでこ 山田秀子さん(あけの平)

あけの平に居住して38年。子育ても終わり、何か自分たちに出来る事はないかと思いました。

「地域の友人たちと子育て世代と高齢者世代の方々が集う」世代間交流、皆さんが「ちょっと行ってみようかな、みんなでお茶を飲んで多くの方が気兼ねなく集える場所」を立ち上げ、4年目になります。それが「行ってみよう会」の活動です。あけの平1丁目会館を拠点に地域住民の居場所づくりとして多くの方にご参加頂いています。

季節ごとにクリスマスツリーづくり、七夕づくり、紙芝居、クイズ、ゲーム、市民歌と体操他にコーラスの先生を招き楽しく歌いました。

牛乳パックで箱づくり、たまには真面目に健康についての講話を頂きました。毎月第二、第四木曜日10時から100円の参加費を頂きコーヒー、お菓子で2時間過ごして頂いております。

昨年コロナ禍でお休みが多くなかなか会えてなかったですが、これからも皆様と楽しい時間を過ごしたいと思います。

## みんなの広場

